

令和7年9月定例会

質問（質疑）要旨

一般質問（一括質問・一括答弁）

（1日目）

9月8日(月) 午前10時

（2日目）

9月9日(火) 午前10時

高岡市議会

◎ 第 1 日 目 ( 9 月 8 日 )

- 1 熊木 義城 (高岡愛・議員会) …… 1
- 2 林 貴文 (高岡愛・議員会) …… 3
- 3 梅島 清香 (同 志 会) …… 5
- 4 田中 勝文 (同 志 会) …… 6
- 5 上田 武 (立憲民主・社民議員団) …… 8
- 6 山上 尊士 (公 明 党) …… 9

◎ 第 2 日 目 ( 9 月 9 日 )

- 7 酒井 善広 (同 志 会) ……11
- 8 新開 広恵 (公 明 党) ……13
- 9 石須 大雄 (立憲民主・社民議員団) ……15
- 10 埜田 悦子 (立憲民主・社民議員団) ……16
- 11 坂林 永喜 (同 志 会) ……18
- 12 福井 直樹 (同 志 会) ……19

議席番号	氏 名	所 属
3	熊木 義城	高岡愛・議員会

通 告 事 項	備 考
<p>1 ファミリー・サポート・センターについて</p> <p>(1) 本市における役割は。</p> <p>(2) 協力会員の増加に向けて、市としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 高岡市文化芸能館について</p> <p>(1) 高岡市公共施設再編計画で廃止の方向性が示されているが、その理由と今後のスケジュールは。</p> <p>(2) 貴重な文化財産である能舞台を残していくべきと考えるが、見解は。</p> <p>3 こどもを取り巻く環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業について</li> </ul> <p>① 実施の背景と期待する効果は。</p> <p>② 事業は継続して実施していくのか、見解は。</p> <p>4 本市のこども施策・教育について</p> <p>(1) こどもの居場所づくりについて</p> <p>① こども家庭庁が進める、こどもの居場所づくりに関する本市の考えは。</p> <p>② 国のこどもの居場所づくり支援体制強化事業のメニューを活用し、居場所の有無やこどものニーズなどを把握するための実態調査を行っては。</p> <p>(2) (仮称) 教育総合支援センターについて</p> <p>① 開設に向けたスケジュールと、運営方針は。</p> <p>② 運営において、生徒や生徒の親、支援団体を含めた様々な声が反映されるべきと考えるが、どのように反映していくのか。</p>	

通 告 事 項	備 考
<p>③ 運営において、公設民営方式をとり、専門性の高い事業者に運営を任せるべきと考えるが、見解は。</p> <p>(3) こどもの権利条例について、制定に向けた取り組みを進めるべきと考えるが、見解は。</p> <p>5 市民にやさしい「公共交通」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の市の方針は。また、市内交通事業者と、具体的にどのように連携していくのか。</li> </ul>	

議席番号	氏 名	所 属
9	林 貴文	高岡愛・議員会

通 告 事 項	備 考
<p>1 チェンジをうたう今後の高岡市政について</p> <p>(1) 今後、市政発展に向け、議会とどのように向き合っていくのか。</p> <p>(2) 氷見線雨晴駅において、城端線・氷見線のあいの風とやま鉄道への移行前に利用者増に向けて、取り組みを検討してはと考えるが、見解は。</p> <p>(3) 任期満了を迎える地域おこし協力隊の就労を支援してはと考えるが、見解は。</p> <p>2 震災復旧と復興への取り組みについて</p> <p>(1) 震災からの復興を次期総合計画に組み込んでいくべきと考えるが、見解は。</p> <p>(2) 復興に向けての取り組みを専門家と地域住民が連携して進めるべきと考えるが、見解は。</p> <p>(3) 復興に向けて俯瞰的な視点でイメージすることができるよう、パース図やイラスト等を取り入れた新たな震災復興計画を策定してはと考えるが、見解は。</p> <p>(4) 解体し転居せざるを得なくなってしまった住民が地域に住み続けられるよう取り組んではと考えるが、見解は。</p> <p>3 教育環境等の今後について</p> <p>(1) 本市の学校再編の取り組みについて</p> <p>① 小中一貫校のそれぞれ特色ある学校づくりをどのように進めているのか。</p> <p>② 寄附など地元から協力があった学校施設などの取り扱いはどのように考えているのか、見解は。</p> <p>(2) 今年度実施された水泳授業の実証実験について</p> <p>① どのような成果があったか。</p>	

通 告 事 項	備 考
<p>② 今後、学校施設以外のプールでの指導が増えることが予想されることから、公共施設の老朽化や民間施設の減少などによる指導拠点の課題についてどのように考えているのか、見解は。</p> <p>③ 指導者には一定の指導力が必要と考えるが、見解は。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
5	梅島 清香	同志会

通 告 事 項	備 考
<p>1 子育て環境の充実に向けて</p> <p>(1) 5歳児健診について、必要性と実施するための課題についての本市の見解は。</p> <p>(2) ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業について</p> <p>① 0歳児だけを対象にした理由は。</p> <p>② 今年度は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するが、来年度以降継続する場合はどのように財源を確保するのか。</p> <p>③ 本事業は「あんしん出産・子育て応援事業」における支援と重複しないよう整理されているのか。</p> <p>(3) きずな子ども発達支援センターの利用状況を踏まえ、障がいを持った子どもの保護者が相談できる体制として昨年度立ち上げた「障がい児に対する相談支援事業」の実績と効果は。</p> <p>2 8月の大雨を受けて</p> <p>(1) 消防本部、消防署及び消防団はどのような体制で対応したのか。また、出動状況はどうであったか。</p> <p>(2) 大雨がくることに備えるため、市内の保育所・認定こども園・幼稚園に、前日から準備や注意喚起等の対応を行ったのか。</p> <p>(3) 今回の大雨で配置した排水ポンプ車の効果は。</p> <p>(4) 農地等における「雨が多すぎる災害」と「雨がなさすぎる災害」の双方に対して、市はどのように取り組んでいるのか。</p> <p>3 猛暑対策について</p> <p>(1) 空調服などの暑さ対策用作業着の導入は効果的だが、中小事業者にとっては費用負担が大きく、助成や支援を検討しては。</p> <p>(2) 脱炭素先行地域の取組に対する意気込みは。</p>	

通告順位 4

議席番号	氏 名	所 属
6	田中 勝文	同志会

通 告 事 項	備 考
<p>1 災害について</p> <p>(1) 豪雨対策について</p> <p>① 8月7日の大雨による本市の被害状況と、対応状況は。</p> <p>② 今回の豪雨災害に際し、令和5年に発生した線状降水帯による被害の教訓はどのように生かされたのか。</p> <p>③ 年々頻発・激甚化する豪雨災害に対して、今後、市としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>④ 今後の豪雨対策として、浸水リスクの高い地域に雨水調整施設を整備するべきでは。</p> <p>(2) 高岡市地域防災力向上プロジェクトの目的と狙いは。</p> <p>(3) 竹平記念体育館サブアリーナ建設はスポーツ施設としての機能だけでなく防災避難所の機能を有する施設として想定されており、建設を進めていくべきと考えるが、見解は。</p> <p>2 移住・定住の促進について</p> <p>(1) 移住・定住に向けた関係人口拡充の取組は。</p> <p>(2) 移住コンシェルジュ事業の進捗状況は。</p> <p>(3) 移住希望者向けに体験宿泊を積極的に推進しPRしては。</p> <p>3 アーバンスポーツに対する本市の想いは。</p> <p>4 安全・安心、安定した水道事業の推進について</p> <p>(1) 国は、鋳鉄製の上水道の旧式管を全て撤去する方針を決めたが、本市の老朽管更新の現状と今後の方針は。</p> <p>(2) 国は、鉛給水管を可能な限り、早期にゼロにする目標を掲げているが、本市の現状と今後の方針は。</p>	

通 告 事 項	備 考
<p>(3) 水道料金について、市民の負担と安全なインフラ維持のバランスをどのように図っていくのか。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
21	上田 武	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
<p>1 能登半島地震に係る市長との対話集会について</p> <p>(1) 対話集会で出た意見や要望に対しての見解は。</p> <p>(2) 吉久地区における隆起した雨水幹線の復旧工事の早期完了が、復興を促進すると考えるが、見解は。</p> <p>(3) 地下水位低下工法を採用した場合の維持管理費について、住民に費用負担を求めず、公費負担とすべきと考えるが、見解は。</p> <p>(4) 液状化対策の維持管理費について、住民負担をなくすため、関係市と連携し、国や県に、その経費についても強力に支援を求めるべきと考えるが、見解は。</p> <p>2 令和7年8月7日からの大雨について</p> <p>(1) 全市の物的被害状況は。</p> <p>(2) 罹災調査の申請状況は。また、更なる周知を図っては。</p> <p>(3) 特に大きな被害があった地域への今後の対策は。</p> <p>(4) 排水ポンプ車などの出動による効果と評価は。また、今後増車する考えは。</p> <p>3 9月補正予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者・障がい者施設、保育所・認定こども園・幼稚園等に対するエネルギー価格高騰および食材費高騰対策助成について</li> </ul> <p>① その内容は。</p> <p>② 7月から9月までの3ヵ月間となっており、10月以降も支援が必要と考えるが、見解は。</p> <p>4 伏木港および石丸地区における防災行政無線について</p> <p>(1) 伏木港での改善に向けた取組みと今後のスケジュールは。</p> <p>(2) 石丸地区での現時点での課題と今後の取組みは。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
1	山上 尊士	公明党

通 告 事 項	備 考
<p>1 ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税による過去3年の寄附額は。</p> <p>(2) 本市のふるさと納税制度による過去3年の市民税の減収額は。</p> <p>(3) 更なる寄附の充実へ向けてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 認知症対策について</p> <p>(1) 認知症とその家族の方からの相談件数の過去3年の推移は。</p> <p>(2) 市民病院の認知症疾患医療センターの相談件数の過去3年の推移は。</p> <p>(3) 認知症の早期発見の為に、認知機能に関するチェックリストをホームページ等で掲載し、本人や家族の気づきを促してはと考えるが、見解は。</p> <p>(4) MCI の検査費用の支援を検討してはと考えるが、見解は。</p> <p>3 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 農業用排水路安全施設整備費補助事業の実施状況は。</p> <p>(2) 安全安心見守りカメラ設置事業費補助金の実績は。</p> <p>(3) 国際電話を使用した犯罪被害を防ぐために、国際電話不取扱受付センターを活用するよう市民の皆さんに働きかけてはと考えるが、見解は。</p> <p>(4) 多様化する犯罪に対し、防犯対策の一助として、高齢者世帯への防犯備品の購入に対する補助を実施してはと考えるが、見解は。</p> <p>4 脱炭素化に関する取り組みについて</p> <p>(1) たかおか SUNSUN エコフェスタ、たかおかクールアースフェスタの来場者数と参加者の反応は。</p>	

通 告 事 項	備 考
<p>(2) 脱炭素化を進めて行く上で大切な市民への意識啓発に関して、今後、どのように取り組んでいくのか。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
19	酒井 善広	同志会

通 告 事 項	備 考
<p>1 市長給料の削減について</p> <p>(1) 削減率（4割カット）と削減期間の根拠は。また、削減額の総額は。</p> <p>(2) 市長自らの給料削減を行うことの意義をどのように考えているのか。また、市長給料の適正水準をどのように判断しているのか。</p> <p>(3) 他の職員に波及し将来の人材確保への影響等が懸念されるため、給料の削減について説明責任があると考え、見解は。</p> <p>2 税金の使い方等について</p> <p>(1) 地方自治体における予算は、公正性・効率性・優先順位・持続可能性・住民参加・地域特性等の観点を考慮し、配分する必要があると考えるが、見解は。</p> <p>(2) 「税金の使い方を抜本的にチェンジ」するとは、具体的に何を指すのか。どの部分をどのように「チェンジ」するのか、言葉だけのキャッチフレーズではなく、具体的な施策と、数字で示すべきと考えるが、見解は。</p> <p>3 組織再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「未来政策部」を「市長政策部」に部名の改正を提案しているが、改正の理由及び狙いは。</li> </ul> <p>4 庁用車について</p> <p>(1) 総務部が管理する庁用車の用途別台数及び今後の方針は。</p> <p>(2) 今定例会に提案されているリース契約解除対象の庁用車は、市長専用車としてリースしたものなのか。</p> <p>(3) 今回のリース契約解除は誰が判断したのか。また、リース契約途中解約の違約金を補正予算で補填することは違約金という「無駄な税金支出」を発生させることになるかと考えるが、見解は。</p> <p>5 市民協働型地域交通システムについて</p>	

通 告 事 項	備 考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内各地で実施・計画されている市民協働型地域交通システムの現状と今後の方針・予定は。</li> </ul> <p>6 市内6中学校区で進行中の小中一貫校の整備状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市における「学校再編」の進捗状況は。また、今後の具体的予定は。</li> </ul>	

議席番号	氏 名	所 属
2	新開 広恵	公明党

通 告 事 項	備 考
<p>1 熱中症対策の推進について</p> <p>(1) 今年度、本市において、熱中症の疑いで救急搬送された件数とその年齢層は。</p> <p>(2) 熱中症対策に関する今後の取り組みについて</p> <p>① 全国的にも熱中症による救急搬送や体調不良等が多数発生している状況の中で、市としてどのように熱中症対策について周知を行っていくのか。</p> <p>② 高齢者や障がい者のいる世帯で、市民税非課税世帯へのエアコン購入費の助成を検討しては。</p> <p>③ 登下校時における児童生徒の熱中症対策の現状は。</p> <p>④ 本市の保育所・認定こども園・幼稚園のお遊戯室におけるエアコン設置状況は。また、未設置施設への今後の方針は。</p> <p>2 「朝の小1の壁」解消に向けた授業前の居場所づくりについて</p> <p>(1) 本市において、朝食を摂らずに登校する児童、生徒の割合は。</p> <p>(2) 児童育成クラブやNPO法人による「授業前の居場所づくり」について、本市として必要性をどのように認識しているのか。また、保護者アンケートなどの実態調査を行い、そのニーズを把握すべきと考えるが、見解は。</p> <p>(3) 学校と地域の連携による、安全・安心な朝の居場所を確保する仕組みづくりが必要と考えるが、見解は。</p> <p>3 帯状疱疹ワクチンの接種状況と今後の取り組みについて</p> <p>(1) 帯状疱疹ワクチン定期接種の状況について</p> <p>① 本年度における対象者数及び接種実績は。</p> <p>② 定期接種の受け忘れを防ぐための取り組みは。</p>	

通 告 事 項	備 考
<p>(2) 带状疱疹ワクチン任意接種者への助成制度を今後も継続してはどうか。</p> <p>(3) 今後の带状疱疹ワクチンに関する情報提供について、50 歳から 64 歳までの任意接種対象者に対し広く啓発を図っては。</p> <p>(4) 高齢者や情報を得にくい人への個別通知や対面支援が必要と考えるが、見解は。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
14	石須 大雄	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
<p>1 出町市長の選挙公約等について</p> <p>(1) 市長の給料減額について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給料を減額せずに、働くべきと考えるが、見解は。また、職員に波及するのではと懸念するが、見解は。</li> </ul> <p>(2) 液状化対策の維持管理費に対する地元負担をなしとしているが、見解は。</p> <p>(3) 高岡市民病院について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① これまでの高岡医療圏における役割は。</li> <li>② 公立病院が担うセーフティーネットの役割についての考えは。</li> </ul> <p>(4) 役職定年者の勤務延長の特例適用凍結を受けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 特例適用を凍結した理由は。</li> <li>② 年金の支給まで安心して働き続けられる職場環境の整備が必要と考えるが、見解は。</li> </ul> <p>2 伏木地区の復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長く険しい道のりになると思うが、意気込みは。</li> </ul>	

議席番号	氏 名	所 属
7	埜田 悦子	立憲民主・社民党議員団

通 告 事 項	備 考
<p>1 あらゆる子どもと保護者に安心できる子育て支援と居場所を</p> <p>(1) 学校で特別な配慮が必要な児童・生徒への支援体制について</p> <p>① 学校や学級に行きづらいと感じている児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりの取り組みは。</p> <p>② 校内において学級以外で過ごす児童・生徒に対する支援スタッフの増員状況及び支援する際の課題は。</p> <p>③ 今年度、民間の不登校のフリースクール等を利用する児童・生徒の人数は。また、市内小中学校との連携状況は。</p> <p>④ (仮称) 教育総合支援センターについて</p> <p>ア 従来の学校と違った発想での子どもの居場所を確保するため、民間支援団体などの協力が必要だと考えるが、見解は。</p> <p>イ 当事者及び保護者等の意見をセンターの運営に生かすため、民間関係機関や学校関係者、市民による「(仮称) 教育総合支援センター検討会」を立ち上げては。</p> <p>ウ 支援が必要な児童・生徒と保護者に向け、(仮称) 教育総合支援センターや支援機関での支援メニューをどのように情報発信するのか。</p> <p>(2) ファミリー・サポート・センター事業について</p> <p>① 「ファミリー・サポート・センター事業」の利用件数の過去5年の推移と利用促進にあたっての課題は。</p> <p>② SNS を活用し、若い世代へのファミリー・サポート・センターの周知を強化しては。</p> <p>③ 物価高騰の社会情勢の中、協力会員の報酬基準額の見直しを検討すべきと考えるが、見解は。</p> <p>2 物価高騰の支援について</p>	

通 告 事 項	備 考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回提案されている高齢者・障がい者施設、保育所・認定こども園・幼稚園等に対するエネルギー価格高騰及び食材費高騰対策助成について</li> <li>① 支援単価の根拠は。また、高騰分のどれだけが反映されているのか。</li> <li>② 支援の対象外となっている認可外保育施設やこども食堂、生活困窮支援などの団体などにも支援を検討しては。</li> </ul> <p>3 市民の声を聴く市政を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長と市民の直接対話をどのように行い、市政に反映させていくのか。</li> <li>(2) 直接対話の場に行けない方や意見を表明しづらい方々の意見をどのようにひろいあげるのか。</li> </ul>	

議席番号	氏 名	所 属
15	坂林 永喜	同志会

通 告 事 項	備 考
<p>1 本市の一人暮らしの生活困窮者等について</p> <p>(1) 地域包括支援センターの設置基準は。また定期的に増設の検討、設置場所の見直しを行っては。</p> <p>(2) 民生委員の配置基準は。また、地域で民生委員の増員が必要になった場合、本市としてどのような対応をとるのか。</p> <p>(3) 市民病院において、入院や手術に必要となる連帯保証人のおられない方に関する相談事例やその対応は。</p> <p>(4) 高齢者世帯・単身世帯の増加により、家庭や地域だけでは解決できない複雑化・複合化する課題を抱えるケースが増えてきていると思われるが、どのように取り組んでいるのか。また、今後の方針は。</p> <p>2 本市の地域交通の現状と利用促進について</p> <p>(1) 市民協働型地域交通システムについて、様々な方式で実行されているが、各地域でこれまでどのような課題があり、改善に向けて本市がどのように関わってきたのか。</p> <p>(2) 地域において需要が見込めると考えているバス路線の開設に向けて、本市はどのように関わっていくのか。</p> <p>3 市街化区域内の農業用排水路について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来的に機能がなくなった場合、どのような手続きが必要なのか。</li> </ul> <p>4 本市の浸水対策について</p> <p>(1) 過去に浸水被害があった地域に対して、どのような対策をしているのか。</p> <p>(2) 市道等が冠水する恐れがある場合、どのような対応をとっているのか。</p>	

議席番号	氏 名	所 属
18	福井 直樹	同志会

通 告 事 項	備 考
<p>1 高岡市総合計画・第5次基本計画の策定に向けて</p> <p>(1) 令和9年度からの本市のまちづくりの基本指針となる第5次基本計画の策定作業をスタートしたが、各部署の諸計画と、より連係を取れたものにすべきと考えるが、見解は。</p> <p>(2) 令和7年度で終了する産業振興部所管の第2期高岡市産業振興ビジョン、第3期高岡市観光振興ビジョン及び第3期高岡市農林水産業振興プランの次期計画について、どのように位置づけ、策定していく考えか。</p> <p>2 他自治体との連携について</p> <p>(1) とやま呉西圏域の連携推進について</p> <p>① 令和8年度から5か年を計画期間とする「第3期とやま呉西圏域都市圏ビジョン」の素案が示されたが、その概要と特徴は。</p> <p>② 第2期ビジョンで位置付けられている33の連携事業が、今回の素案では31事業に減っているが、事業再編の考え方は。</p> <p>③ 第3期ビジョンで新たに盛り込まれた事業や今後検討を進めていく施策の考え方は。</p> <p>(2) 関係自治体との連携について</p> <p>① 城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画の推進に向けて、今後の連携についての考えは。</p> <p>② 能登半島地震からの復旧・復興に向けた液状化対策の推進について、今後の連携についての考えは。</p> <p>3 教育関連について</p> <p>(1) 市立大学設立の意義と設立への思いは。</p> <p>(2) 県が進めている県立高校の再編について、本市として意見具申をしてきたのか。また、積極的に意見具申をすべきと考えるが、見解は。</p>	

通 告 事 項	備 考
4 新庁舎整備ロードマップを白紙撤回されたが、代替案を示すべきでは。	